

市民共同発電所

設置に向け支援を

問 全国各地で市民共同発電所が盛んに設置されている。袋井市も運動を進める市民団体と協働を進め、設置に向け支援する考えはないか。

答 市民共同発電所は、市民の環境意識の向上につながることを考えるため、必要な情報提供や普及啓発など側面的な支援をしていきたい。

問 具体的に事業を進めるには行政や専門家のバックアップが必要となる。市内関係者を集めた協議会の設置を提案するがどうか。

答 現在、金融機関や静岡県環境資源協会など太陽光発電事業に対する協定を結んでいる。新たな協議会を設置するのではなく、これらの機関と一層連携を図ることにより、太陽光発電の推進に努めていく。



浅羽南小学校の屋根に設置された太陽光パネル

公共施設屋上の貸与

屋根貸しの考えは

問 市の取り組みの総括と今後の対応はどうか。

答 袋井北小学校屋上の屋根貸しは、今年度中に設置の予定である。新たな屋根貸しについては、新たな施設の整備や施設の大規模改修と合わせ、必要面積が確保される場合には、随時、事業者と施設管理者との調整をしていきたい。

防潮堤工事盛土工の見直しは

問 袋井市静岡モデル防潮堤整備事業の第一工区から第四工区まで、約3.5kmの盛土に必要とされる豊沢工業団地からの搬出土60万m³は確保できる見通しか。

答 豊沢工業団地整備事業に伴う発生土は、盛土分や表層土などの残土処理分を除き、当初計画どおり60万m³以上の搬出は確保できる見通しである。

小笠山麓開発事業の進展は

問 平成28年度予定の道路測量調査業務、農振農用地区域の除外協議や、進出企業の確保は進捗しているか。

答 用地測量、除外協議は計画に沿って進捗している。企業誘致には苦戦しているが、競争力ある工業団地としたい。

サイクリングコースの整備を

問 袋井市内のサイクリングに適した道をサイクリングコースとして情報提供するためのマップ作成ができないか。

答 安全なルート確認をし、市内の地域資源を活かした魅力あるコースをはじめ、さらには広域での設定など、様々な視点から研究を進め、サイクリングコースマップの策定に向けて取り組みたい。



袋井市静岡モデル防潮堤整備事業